

【お客様へ】

この度は、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当商品の取付、取り扱いについての要領と注意を記載してあります。安全に正しく装着していただくために、装着作業前にこの取付・取扱説明書を最後までお読みいただき、装着上の注意事項などについて十分にご理解の上、正しく取付・取り扱いいただきますようお願いいたします。

【品番・適合車種】

部品番号		適応車種	型式	年式	備 考
CRS-4201-01	フロント	ハイエース ワイドボディ	200系	2004年8月～	
	リア				

【構成部品】 ※作業をはじめる前に構成部品がそろっているか確認してください。

<フロントセット>

No.	部 品 名	数量	No.	部 品 名	数量
①	モーションコントロール ビーム本体	1	②	ブラケット L/R	各1
③	フランジボルト M10×35	2	④	フランジナット M10	2
⑤	取付・取扱説明書	1			

<リアセット>

No.	部 品 名	数量	No.	部 品 名	数量
①	モーションコントロール ビーム本体	1	②	メンバー L/R	各1
③	ブラケット L/R	各1	④	スタッドプレート	2
⑤	ナットプレート	2	⑥	フランジボルト M10×35	2
⑦	フランジナット M10	2	⑧	フランジボルト M6×20	10
⑨	フランジナット M6	2	⑩	取付・取扱説明書	1

【取付・ご使用前に必ずお読みください】

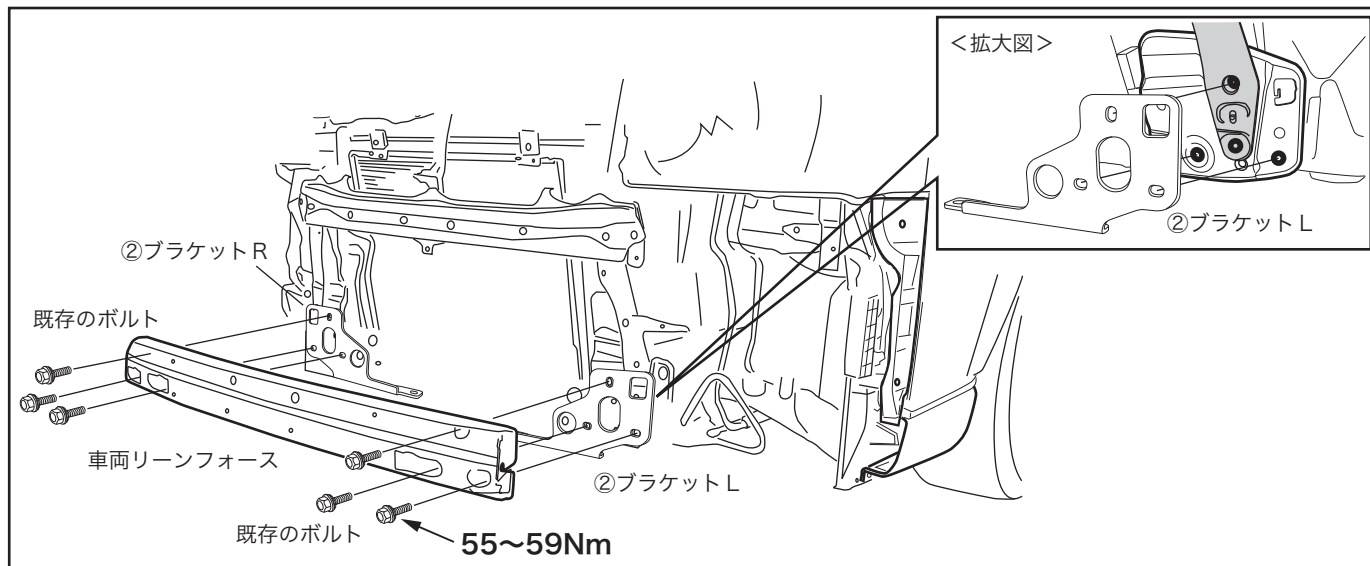
▲ 警告

- 本製品の車体への組み付けは、必ず資格のある認証工場で行ってください。
- 車種別設計になっておりますので、適応車種以外の車両には絶対に使用しないでください。
- 本製品を改造しての取付は絶対に行なわないでください。
- お客様、または第三者がこの製品の誤った取り付け、取り扱いによって受けられたいかなる損害について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 自動車の安全な整備は、使用者の法的責任です。定期点検整備は、安全性と公害防止を図るうえで必要不可欠です。日常点検はもとより、定期点検や定期部品交換は必ず実施してください。
- 本製品、付属品を含め、改良のため予告なく変更する場合があります。

▲ 注意

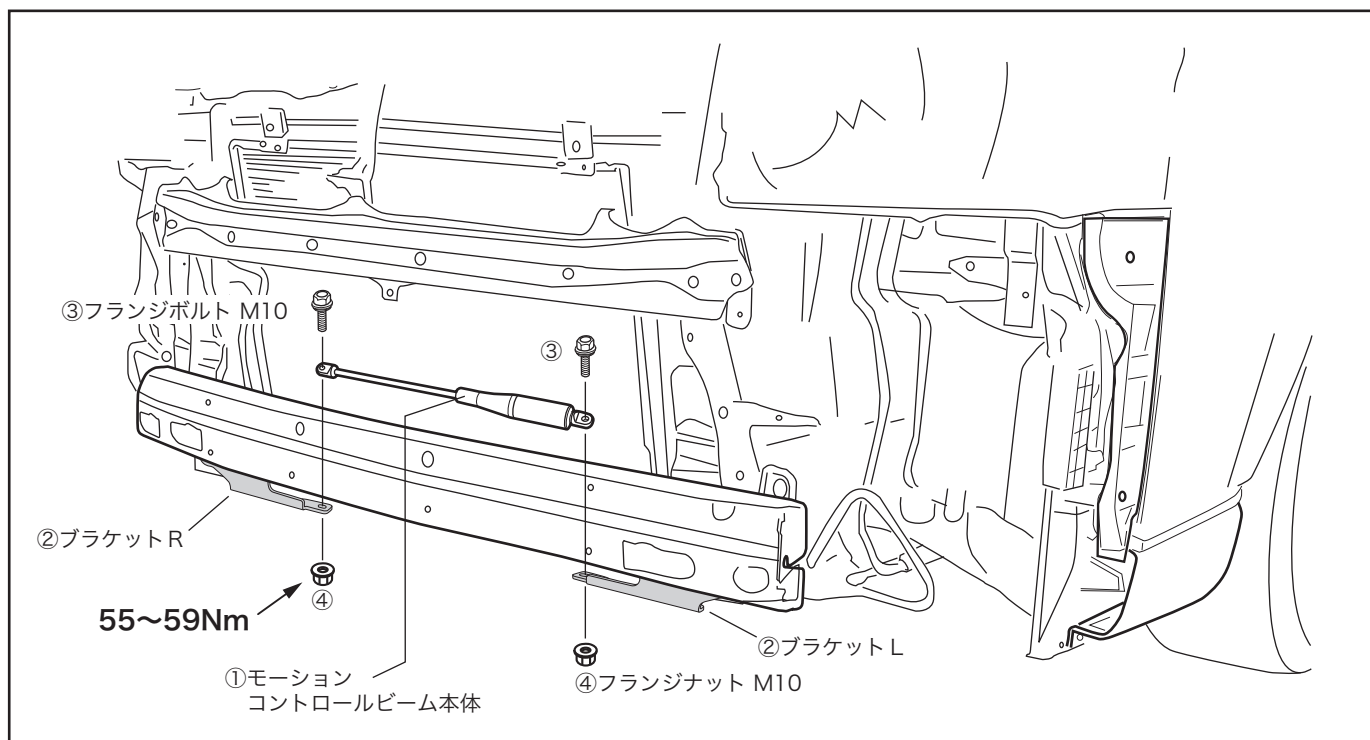
- 日常点検を行い、定期的にねじ部の緩みが無いか確認してください。ねじ部に緩みがありますと異音、干渉、事故、けが等の原因となります。
- 異常、異音、損傷等有る場合は、速やかに車両から外してご使用を中止してください。
- この取付・取扱説明書は、お読みになった後も大切に保管してください。
また、本製品を譲渡する場合は、本書を必ずお渡しください。
- 取り付け以後のキズまたは経年変化による機能上のクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。
また、取り付け不良、違法改造車両への取り付け、もしくは日常点検を怠ったために発生した破損、事故等につきましては弊社は一切の責任を負いません。
- 取付作業の前に装着車種と適合しているかどうか確認してください。
- 落下させる等の乱暴な扱いは絶対に避けてください。
- 作業の際は、エンジンを停止させ、パーキングブレーキをかけ、車両が確実に固定されていることを確認してから作業を行ってください。
- 取付後は全てのナットやボルト等のネジ類が整備手順要領に従って正常に締め付けられているか、また、本製品と車体側の部品が接触していないか等、十分に確認してください。

【取付方法】



<フロントの取り付け>

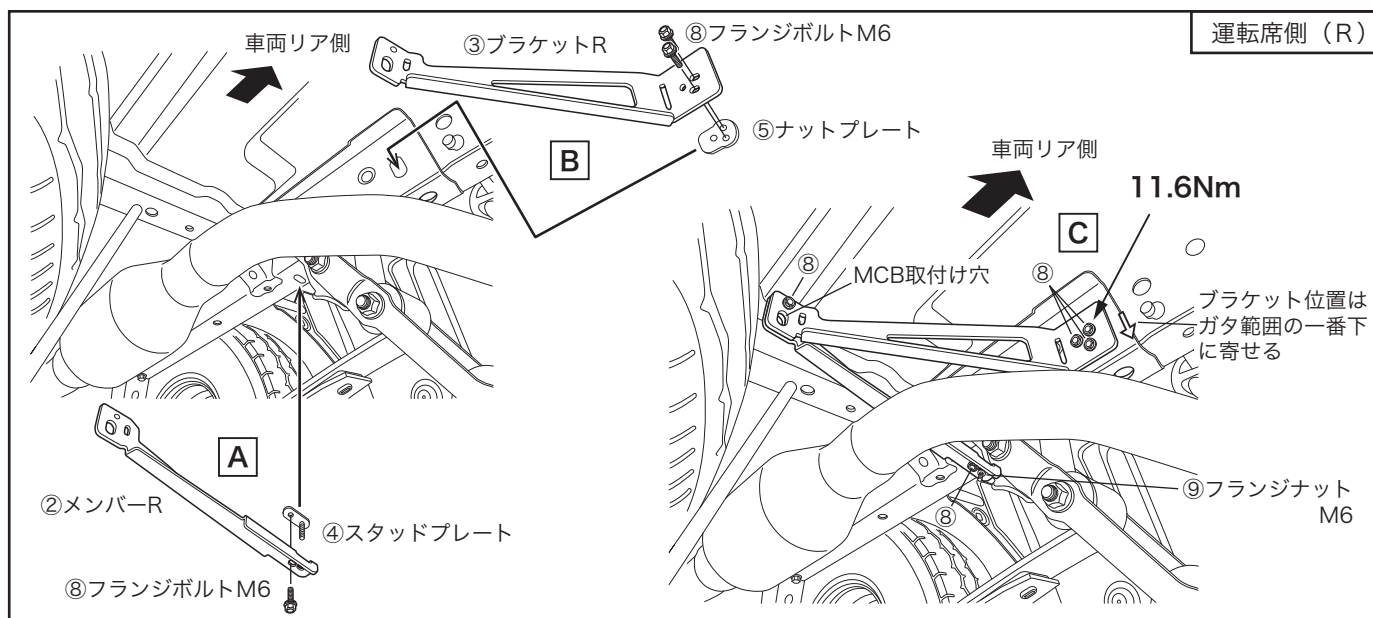
1. 車両からフロントバンパーを取り外してください。
2. 図を参照して、車両リーンフォースを一度外して、②ブラケットLRを車両メンバーとリーンフォースの間に挟み込むようにセットして、既存のボルトにて仮固定してください。



3. ②ブラケットLRの上側に①モーションコントロールビームをセットし、③フランジボルトと④フランジナットにて仮固定してください。
4. 全体の取付位置を確認し、ブラケットのMCB取付面が水平になる様に、必要に応じて調整してください。その状態で、②ブラケットLRおよび車両リーンフォースの取付ボルト6ヶ所を確実に固定してください。（締付トルク：55~59Nm程度）
5. 車両を接地させ、1G状態で①モーションコントロールビーム両端の③フランジボルトと④フランジナットを確実に固定してください。（締付トルク：55~59Nm程度）

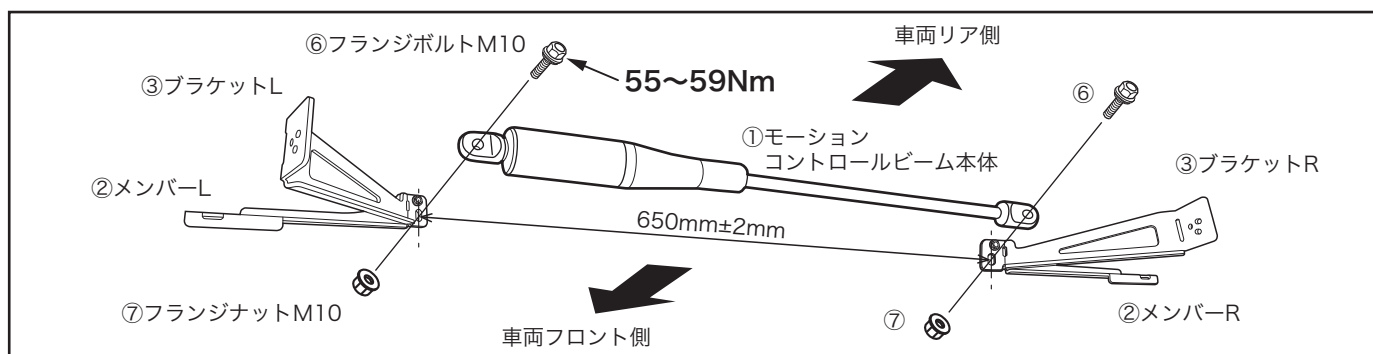
⚠ 注意

- 取付終了後に各固定部に緩み等がないか確認してください。
- 車両部品との干渉、挟み込み等がないか確認してください。



＜リアの取り付け＞

1. 上図Aを参照して、④スタッドプレートを車両フレームの捨て穴に挿入した後、②メンバーの穴（車両の外側になる方の穴）からスタッドボルトを貫通させ、スタッドプレートのネジ穴を合わせながら⑧フランジボルトM6を仮付けてください。スタッドボルトには⑨フランジナットM6を仮付けし、メンバーを仮固定してください。仮固定の際、遊びは最小限としてください。
2. 上図Bを参照して、⑤ナットプレートを③ブラケットの長穴2ヶ所に⑧フランジボルトM6/2本で仮付けしてください。その際、フランジボルトの先端がナットプレート裏側から出っ張らない範囲で、2～3回転だけ仮締めしてください。
3. 上図Cを参照して、⑤ナットプレートを車両フレームの捨て穴に挿入し⑧フランジボルトM6をもう1本取付けた後、フランジボルト3本を仮固定してください。仮固定の際、③ブラケットをフレームに密着させ、ブラケットの上下位置をガタの範囲の一番下に寄せて、遊びは最小限としてください。
4. ②メンバーと③ブラケットの合わせ面を⑧フランジボルトM6で仮固定してください。仮固定の際、遊びは最小限としてください。
5. 助手席側（L）も1.～4.の作業を同様に行い仮固定してください。
6. MCB本体の取付け穴L/Rの距離をコンベックス等で測り、穴のセンター間が $650\text{mm} \pm 2\text{mm}$ になる様に調整してください。その状態で、まず②メンバーと④スタッドプレートを固定しているボルトおよびナット、次に②メンバーと③ブラケットを固定しているボルトの順で確実に固定してください。（締付トルク：11.6Nm）
7. ③ブラケットと⑤ナットプレートを固定しているボルト3本を締め込んで確実に固定してください。所定トルクでの締付けは、3本を順繰りに2順以上確認してください。（締付トルク：11.6Nm）



8. ③ブラケットの車両後側に①モーションコントロールビームをセットし、⑥フランジボルトM10と⑦フランジナットM10にて仮固定してください。車両のフレームおよびスペアタイヤとMCB本体の間隔が、それぞれ10mm以上空いていることを確認してください。
9. 車両を接地させ、1G状態で①モーションコントロールビーム両端の⑥フランジボルトM10と⑦フランジナットM10を確実に固定してください。（締付トルク：55～59Nm程度）
10. 全てのM6ボルトとM6ナットが所定のトルクで締まっていることを、トルクレンチで再度確認してください。

△注意

- 取付終了後に各固定部に緩み等がないか確認してください。
- 車両部品との干渉、挟み込み等がないか確認してください。